



イマコレ

ほうとく

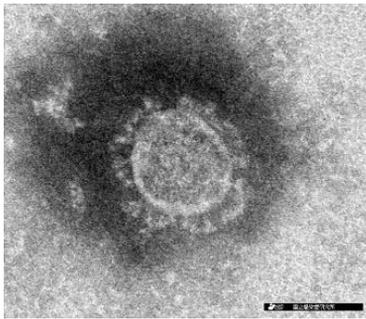
2020年 2月15日

〒519-2505
大台町江馬127 報徳診療所
TEL 0598-76-1133

新型コロナ肺炎について知りましょう

インフルエンザも流行する中、年末に発生が確認されたコロナウイルスによる新しい肺炎「新型コロナウイルス」が猛威を振るい世界的な問題になっています。今回「イマコレほうとく」では、皆さんにこの肺炎について少しでも知っていただき、不必要な不安を抱かずに済むように号外を出しました。

コロナウイルス：電子顕微鏡で見るとその形が王冠（crown）に似ていることからギリシャ語で王冠を意味するコロナ（corona）の名がついたウィルスです。



王冠：コロナ（ギリシャ語）

（国立感染症研究所提供写真）

コロナウイルスと病気

ウイルスにはたくさんの種類があるのですが我々が普段よくかかる「カゼ」もこの種のウイルスが原因です。ただしこの「かぜ」ウィルスは世界中どこにでもあり人と人との間で感染してきたもので、症状も「咳」「鼻水」「微熱」といった比較的軽いものがほとんどです。それに対して20年ほど前（2002年）に流行したSARS（重症急性呼吸器症候群）や10年ほど前（2012年）のMERS（中東呼吸器症候群）はひどい肺炎を起こし重症化することから問題となりました。そして何よりこの2つ（SARS、MERS）の原因になったコロナウイルス、元々はヒト以外の動物の間で感染していたウイルスがヒトにうつり、さらにヒトからヒトに感染するようになったことで事態の深刻化を招いたのです。

新型肺炎（新型コロナウイルス）

今回のコロナ肺炎はやはり動物からヒトにうつるようになったウイルスで武漢を中心に発生したと考えられていますが、今までのSARSやMERSと違った点もいくつか見られます。

まず、症状です。SARSやMERSが重篤な症状になる方が多かったのに対して今回は風邪のような軽い症状から重い症状まで様々な方がいること。ですから発熱なども高熱の方、微熱の方と様々です。そして感染能力が高くまだ病気として症状が出る前、すなわち「潜伏期間」といわれる時期にも感染するらしいということです。そのためこのウイルスに罹った人を判別するのが難しく、あっという間に全世界にひろまっていきました。このスピードはかなり速く対策が中々追いつかないほどです。

ヒトに感染するコロナウイルス

	HCoV-229E	HCoV-NL-63	HCoV-OC43	HCoV-HKU1	SARS-CoV	MERS-CoV	2019-CoV 新型コロナウイルス
宿主	ヒト				コウモリ⇒ハクビシン	コウモリ⇒ラクダ	コウモリ⇒不明
感染経路	呼吸器飛沫・接触				呼吸器飛沫・接触・便	呼吸器飛沫・接触・便	呼吸器飛沫・接触・便
潜伏期間	2-4日				2-10日	2-14日	2-14日?
疾病	かぜ症候群				SARS	MERS	2019新型肺炎
発生年	通年				2002-2003年	2012年	2019年
発生地域	世界中に蔓延				中国広東省から	中東地域から	中国武漢から
感染者	70億人				8,098人	2,494人	24,000人以上(*)
感染による死亡者	不明				774人	858人	490人(*)
罹患年齢	全年齢多くは6歳以下				中央値40歳 (小児はほとんどなし)	中央値52歳 (小児はほとんどなし)	50歳前後? (小児はほとんどなし)
症状	鼻炎、上気道炎、下痢				肺炎・下痢	肺炎・下痢	鼻炎、上気道炎、肺炎・下痢
重症化	稀				基礎疾患・高齢者	基礎疾患・高齢者	有り(調査中)
ヒトヒト感染	地域内感染伝搬				限定的	限定的	地域内感染伝搬

* : 2019年2月5日現在

独立行政法人国立三重病院 臨床研究部長 谷口清州先生報告スライドより一部改変

新型肺炎に対する対策

現在ウイルスがようやく確認できた段階なので、インフルエンザのように外来でウイルスを簡単に見つける方法や、ワクチン、治療薬は見つかっていません。各国、各自治体はいち早く対策本部を立ち上げて、拡大を防ぐべく対応しているところです。もちろん大台町でも対策本部が立ち上がっています。

新型肺炎に対する皆さんの対応へのお願い

現在予防としては手洗い、マスク、うがいなどインフルエンザの予防対策と同じと考えてください。特に手洗いは重要で、石鹸以外にもアルコール消毒剤などは有効です。

一般のかぜやインフルエンザと違い、現在このウイルスによる15歳以下での発症はほとんどありません。子供さんが熱を出した場合まずインフルエンザなどを疑ってください。

2週間以内にかかっている可能性のある人と接触したと思われる方は、三重県もしくは保健所の相談窓口にご連絡してください。

これはどんな病気にも言えることですがやはり体力的に弱っている場合はかかりやすいと考えます。日頃から食事などを含め健康に留意して生活してください。

報徳診療所ではまた新しい情報があれば皆様にご報告できるよう体制を整えてまいります。

相談窓口 松阪保健所 : 0598-50-0531

三重県庁 : 059-224-2339

※相談窓口は、大台町ホームページ、ケーブルテレビでもお知らせしております。